

|     | 群馬県                                          | お知らせ                                                           | 皆様の参加の場・手法                                  |
|-----|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 10月 |                                              |                                                                |                                             |
| 11月 |                                              | 道づくり通信(第1号) <b>済</b>                                           | アンケート調査の実施 <b>済</b>                         |
| 12月 |                                              | 説明会 第1回道づくり会議<br>(アンケートに関する説明) <b>済</b>                        |                                             |
| 1月  | アンケート結果をまとめ、「事業に関して配慮する事項」について整理します。         | アンケート結果を踏まえ、皆さまが求めていることを考慮し、地域が重視する「事業に関して配慮する事項」について確認・共有します。 | WEB回答 <b>済</b> アンケート用紙回答 <b>済</b>           |
| 2月  | 第2回道づくり会議にご参加されなかった方にも説明内容や意見等をお知らせします。      | 道づくり通信(第2号) <b>済</b>                                           | 説明会 第2回道づくり会議<br>(計画に対する配慮する事項の検討) <b>済</b> |
| 7月  | 第2回道づくり会議の意見を踏まえ、県が整理した複数の比較案とその評価について整理します。 | 前回道づくり会議の結果を踏まえ、県が整理した比較案とその評価内容について、確認・共有します。                 | 説明会 第3回道づくり会議<br>(複数の計画案と評価の検討) <b>済</b>    |
| 8月  | 第3回道づくり会議にご参加されなかった方にも説明内容や意見等をお知らせします。      | 道づくり通信(第3号) <b>済</b>                                           |                                             |
| 9月  | 第3回道づくり会議の意見を踏まえ、計画案を取りまとめます。                | 第3回道づくり会議の結果を踏まえ、県が決定した計画を説明します。                               | 説明会 第4回道づくり会議<br>(計画案の公表) <b>済</b>          |
| 10月 |                                              |                                                                |                                             |
| 11月 | 将来的な事業化に向けての検討を進めていきます。                      | 道づくり通信(第4号) <b>今回</b>                                          | 第4回道づくり会議にご参加されなかった方にも説明内容や意見等をお知らせします。     |

住民に確認・共有すること

住民に伝えること

## 質疑応答

「第4回道づくり会議」に出席された方からの質問に対して、県の担当者が回答しました。【内容(抜粋)】

Q1：道路整備に関わる地権者への説明会を行うのか。

A1：詳細な測量や土地の境界立会を行った後に、地権者への説明を行います。

Q2：道路の規模について、どのように考えているのか。

A2：車道は片側1車線の2車線道路、自転車通行帯を両側に設け、歩道は家屋が立ち並び区間では両側に整備し、沿道から侵入できない盛土区間では片側での整備を予定しています。

Q3：工事着手時期や完成予定を教えてください。

A3：早期に着手できるよう、これから詳細な測量や設計を行っていきます。

道づくり通信の内容について、ご意見やご質問がございましたら、以下の問い合わせ先まで、ご連絡ください。

## ◆発行/お問い合わせ◆

群馬県館林土木事務所（担当：企画調査係 相澤、町田）

〒374-0052 群馬県 館林市 栄町 23-1 TEL：0276-72-4355

## 道づくり通信 vol.4

発行：群馬県館林土木事務所

「(仮称)利根川新橋アクセス道路」の道路計画について、昨年11月より「道づくり会議」を実施しており、地域の皆様からのアンケートの結果を参考に、今年の2月に「第2回道づくり会議」を、7月に「第3回道づくり会議」を開催しました。本号は、「第3回道づくり会議」までの結果を踏まえて行われた「第4回道づくり会議」で決定した内容についてご案内します。

## 「第4回道づくり会議」について

「第4回道づくり会議」は、9月30日に千代田町で、10月2日に邑楽町で開催しました。今回の会議では、「第3回道づくり会議」でご提示した3つのルート案から、地域の皆様から頂いたご意見等をもとにルート案の絞り込みを行い、決定したルートについてご意見・ご要望を聞かせていただきました。

## 決定ルート案について

「第3回道づくり会議」で、ご提示した3つのルートについて、「第2回道づくり会議」で決定した道路計画で求められる7つの機能を重視してルートの選定を行ったところ、すべての機能を満足することができる

**【現道活用ルート案】**に決定しました。

## ルートを決定するにあたり重視した7つの機能



第4回道づくり会議の様子 (R7.9.30)

**機能①車の移動時間を減らすために**  
新規交差点数を抑え、渋滞を緩和します。

**機能②近隣へのアクセスを良くするために**  
周辺主要施設に近く、アクセス性が向上します。

**機能④車・歩行者・自転車の安全性を高めるために**  
走行空間を分離することで安全性を高めます。

**機能③車の走行性を高めるために**  
カーブを緩やかにし、走りやすい道路にします。

**機能⑤防災機能を高めるために**  
想定浸水深より高い位置に道路を整備します。

**機能⑦地域を活性化するために**  
円滑な移動と物流の効率化により、産業発展が期待できます。

**機能⑥生活環境への影響を少なくするために**  
農地区画に沿ったルートとします。地域の分断を防ぐために現道を活用します。

※ 決定ルートの詳細につきましては、裏面をご参照ください。

# (仮称)利根川新橋アクセス道路 ルート概要

アンケートや道づくり会議での地域の皆さんからの意見をふまえて、「道路計画に求められる7つの機能」をまとめました。

## ①車の移動時間を減らす

- ・新橋から国道までの信号を少なくしてほしい。
- ・刀水橋や武蔵大橋の渋滞緩和に期待。

## ②近隣へのアクセスを良くする

- ・工業団地へのアクセス性向上を期待します。
- ・古戸館林線と新橋のアクセス向上を考えて欲しい。

## ③車の走行性を高める

- ・カーブを減らして走りやすい道路にしてほしい。
- ・大型車も通るので、広い道路にしてほしい。

## ④車・歩行者・自転車の安全性を高める

- 【車の安全】
- ・交通事故が増えないようにしてほしい。
- 【歩行者の安全】
- ・子供や高齢者が安全に通れる道路にほしい。
- 【自転車の安全】
- ・自転車や歩行者の事故に配慮してほしい。

## ⑤防災機能を高める

- ・災害時に信頼性の高い道路にしてほしい。
- ・災害時に避難ができるようにしてほしい。

## ⑥生活環境への影響を少なくする

- ・地域が分断されないようにしてほしい。
- ・農地への影響を少なくしてほしい。

## ⑦地域を活性化させる

- ・沿道利用による産業の活性化につなげてほしい。
- ・地域の魅力を高め、町の賑わいをつくりたい。

新しい道路の計画は、全ての機能を満足する

# 「現道活用ルート案」

に決定しました。

## ①車の移動時間を減らすために

- ・新規交差点の設置を抑え、渋滞の影響を軽減します。
- ・新橋整備により刀水橋等の渋滞緩和が期待できます。

## ②近隣へのアクセスを良くするために

- ・新しい道路から鞍掛工業団地へ最短距離でアクセスできます。
- ・古戸館林線から直接アクセスが可能となります。

## ③車の走行性を高めるために

- ・カーブをゆるやかにし、現道も新設区間と同様に大型車が安全に通れる道幅とします。



## ⑤防災機能を高めるために

- ・想定される浸水より高い盛土道路とすることで、災害時の避難や物資の輸送道路となります。

## ⑥生活環境への影響を少なくするために

- ・一部現道を活用することにより地域の分断を防ぎます。
- ・新設道路区間においても東西の往来方法を検討します。
- ・農地利用への配慮から、農地区画に沿ったルートとします。

## ⑦地域を活性化するために

- ・新しい道路ができることで、円滑な移動が可能となり、物流の効率化による産業発展などが期待できます。